



観明寺旧本堂向拝手挟彫刻「牡丹図」（島村圓鉄）

下地には白い胡粉、開きかけた花びらの根元近くには赤い彩色、葉には薄緑の彩色がわずかに残る。欄間彫刻などにも同様の彩色が残ることから、展示の手挟も同寺旧本堂のもので島村圓鉄の作である。牡丹の花びら一枚一枚が異なる様相で複雑にほころび、葉も風にそよぐかのように柔らかで軽やかな質感である。生命が刻々と変化している様態を的確に彫り上げる。睦沢町指定文化財。